

AC/DC 耐電圧・絶縁・アース導通(GB) 安全試験器

GPT-9000 / GPT-9000A シリーズ

クイックスタートガイド



ISO-9001 CERTIFIED MANUFACTURER

GWINSTEK

本マニュアルについて

ご使用に際しては、必ず本マニュアルを最後までお読みいただき、正しくご使用ください。また、いつでも見られるよう保存してください。

本書の内容に関しましては万全を期して作成いたしました。が、万一不審な点や誤り、記載漏れなどがございましたらご購入元または当社までご連絡ください。

2025 年 3 月

このマニュアルは著作権によって保護された知的財産情報を含んでいます。本説明書の内容の一部または全部を転載する場合は、著作権者の許諾を必要とします。また、製品の仕様および本説明書の内容は改善のため予告無く変更することがありますのであらかじめご了承ください。

取扱説明書類の最新版は当社 HP (<https://www.texio.co.jp/download/>) に掲載されています。当社では環境への配慮と廃棄物の削減を目的として、製品に添付している紙または CD の取説類の廃止を順次進めております。

取扱説明書に付属の記述があっても添付されていない場合があります。

Good Will Instrument Co., Ltd.

No. 7-1, Zhongsing Rd., Tucheng Dist., New Taipei City 236, Taiwan.

目次

はじめに.....	2
シリーズ 一覧	2
モデル 一覧	2
特徴	3
付属品とオプション	4
フロント パネル	5
リア パネル	5
操作方法.....	7
メニュー 構成	7
メニュー構成の概要	8
ACW、DCW、GB 単独(MANU)試験	11
単独(MANU)試験番号の選択/呼出	11
単独(MANU)試験の編集	12
試験電圧と電流の設定	13
試験周波数の設定	14
上限/下限基準値の設定	15
オフセット(Reference)の設定	17
単独(MANU)試験 試験時間(Timer)の設定	18
上昇時間(Ramp Up)の設定	20
編集(EDIT)の保存と終了	21
単独(MANU) 試験の実行	22
単独(MANU) 試験の PASS / FAIL	26

はじめに

シリーズ 一覧

GPT-9000/9000A シリーズは、電気、電子製品に必要な 4 つの安全試験、AC/DC 耐電圧試験、対絶縁抵抗試験、アース導通試験を行うことが可能な試験器です。

GPT-9801/9901A は、AC 耐電圧試験器。GPT-9802/9902A は、AC/DC 耐電圧試験器。GPT-9803/9903/9903A は、AC/DC 耐電圧試験と絶縁抵抗試験が可能です。GPT-9804 / GPT-9904 は、アース導通 (GB) 試験を含む、4 つの試験がすべて可能です。この全モデルに共通した AC 耐電圧試験は、5kVAC まで操作可能です。DC 耐電圧試験が試験可能なモデルでは、6kVDC まで操作可能です。(GPT-9801 /9901A 除く)

モデル 一覧

モデル名	ACW	DCW	IR	GB	Sweep
GPT-9801	✓				
GPT-9802	✓	✓			
GPT-9803	✓	✓	✓		
GPT-9804	✓	✓	✓	✓	
GPT-9901A	✓				✓
GPT-9902A	✓	✓			✓
GPT-9903	✓	✓	✓		✓
GPT-9903A	✓	✓	✓		✓
GPT-9904	✓	✓	✓	✓	✓

GPT-99XX/99XXA モデルは、リアパネルにもテスト・ターミナルを標準装備し、システムアップをし易く、より安全性にご使用できます。また、スリープ機能を装備、試験結果をフロントパネルの液晶パネルにグラフ表示します。

GPT-9000/9000A 単独試験には、試験条件を 100 個保存することが可能です。また、自動試験では、16 個の単独試験を 1 ブロックとして、100 個のブロックを保存可能です。ブロック内に保存された試験条件は、自動的に実行させることが可能です。各国にて定められた安全規格 IEC, EN, UL, CSA, GB, JIS などの試験を安全、正確に行うことが可能です。

注意: この取扱説明書では、AC/DC 耐電圧試験、絶縁抵抗試験、アース導通試験について、それぞれ説明します。GPT-9000 は、GPT-98XX または、GPT-99XX モデルを示します。GPT-9000A は、GPT-99XXA モデルを示します。

特徴

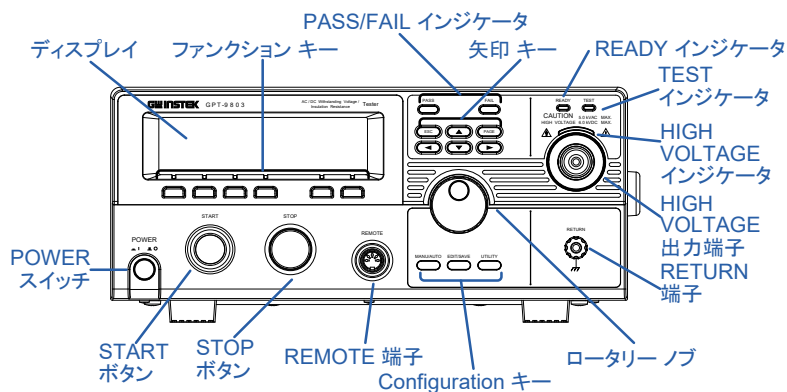
性能	<ul style="list-style-type: none">ACW(AC 耐電圧): 5kVACDCW(DC 耐電圧): 6kVDCIR(絶縁抵抗): 50V~1000V (50V steps)GB(アース導通): 3A~30A (GPT-9804) 3A~32A (GPT-9904)
特徴	<ul style="list-style-type: none">出力電圧 RAMPUP 機能(上昇時間制御)安全放電機能単独(MANU)試験:100 個の試験条件を保存可能自動(AUTO)試験:16 個の単独試験を 1 ブロックとして 100 個、保存可能各種保護機能(過温度/過電圧/過電流)ステータス&警告表示用 高輝度 LED インジケータ 装備PWM 出力 (90% 高効率, 信頼性アップ)インターロック機能スリープ機能
インタフェース	<ul style="list-style-type: none">リモート端子 (試験 実行/停止)RS-232C/USB 標準装備GP-IB オプション対応SIGNAL I/O 端子 (PASS/FAIL/試験モニタ/ 実行/ 停止制御/インターロック)

付属品とオプション

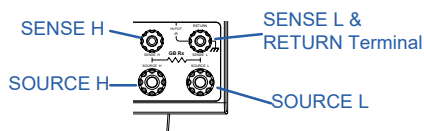
付属品	パーツ番号	説明
	GHT-114	高電圧テストリード
	地域により異なります。	AC 電源コード
	GTL-215	アース導通試験(GB) テストリード(GPT-9804/9904 のみ)
	N/A	リモート端子ミルプラグ
	N/A	インターロック キー
オプション	パーツ番号	説明
	GHT-205	高電圧テストプローブ
	GHT-113	高電圧テストプローブ
	GTL-232	RS-232C ケーブル
	GTL-248	GP-IB ケーブル
	GTL-247	USB ケーブル (A-A)
	GRA-417	EIA ラックマウントアダプタ
	GRA-433	EIA ラックマウントアダプタ
		GPT-9903A/9904 用
オプション	パーツ番号	説明
GPT-9KG1	Opt.01	GPIB モジュール
	GPIB インターフェース	

フロント パネル

GPT-9801/9802/9803/9901A/9902A/9903/9903A

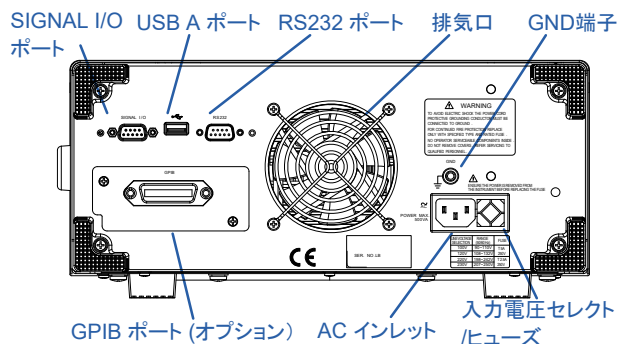


GPT-9804/9904

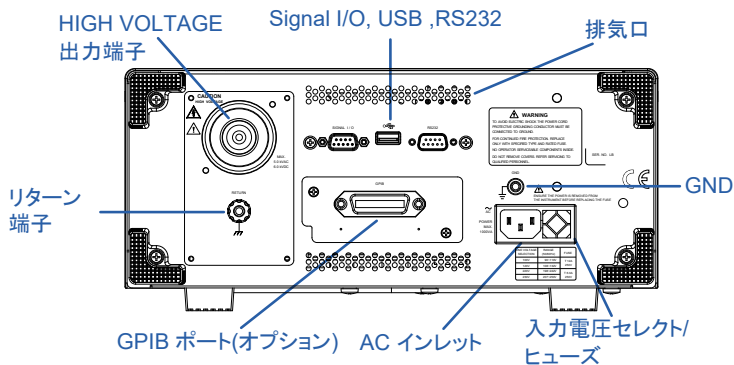


リア パネル

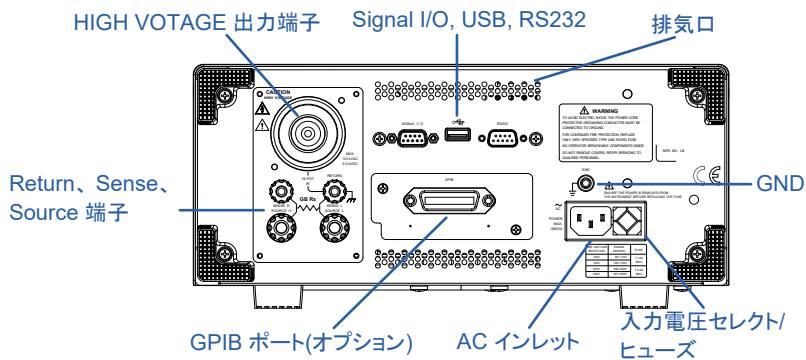
GPT-9801/9802/9803/9804



GPT-9901A/9902A/9903/9903A



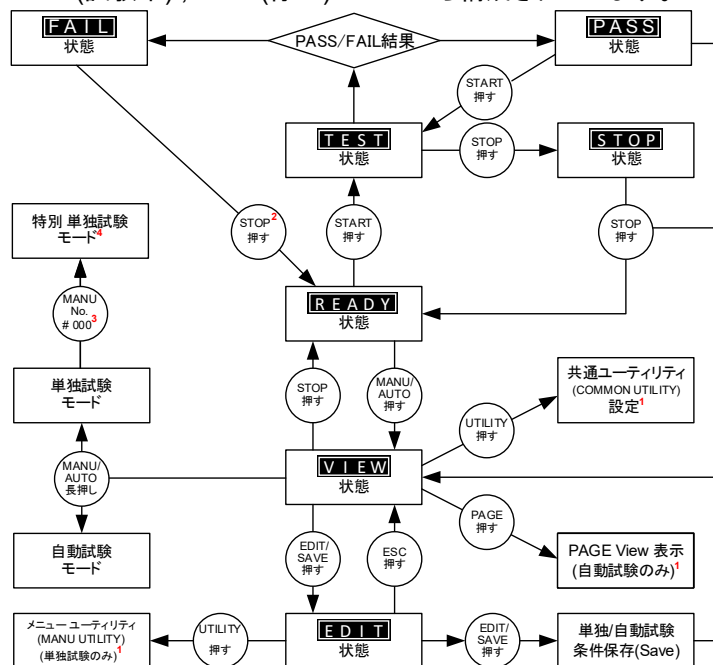
GPT-9904



操作方法

メニュー 構成

この章では、本器の各メニュー構成と操作方法について説明します。本器は大きく2種類の試験、単独(MANU)試験と自動(AUTO)試験からなります。操作構成はVIEW(条件), EDIT(編集), READY(準備完了), TEST(試験中), STOP(停止)の5つから構成されています。

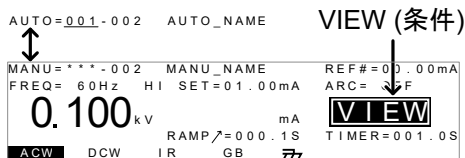


1. EDIT/SAVE キーを押すと設定が保存されます。ESC キーを押すと設定が、キャンセルされます。どちらも、前の画面に戻ります。
2. 試験結果が、FAIL の時は、STOP キーを2回押します。
3. 単独試験モードの時は、MANU=***-000 を選択すると、特別 単独試験モードとなります。
4. スイープ機能は、特別 単独試験モードの時のみ有効です。

メニュー構成の概要

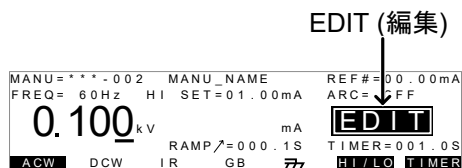
VIEW 状態 (条件)

VIEW 状態は、単独/自動試験それぞれに設定されている試験条件を表示します。



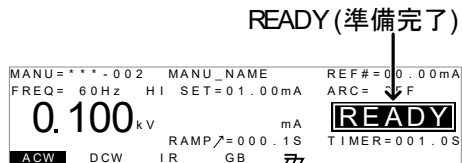
EDIT 状態 (編集)

EDIT 状態は、単独/自動試験条件の編集が可能です。EDIT/SAVE キーを押すと変更項目が、保存されます。ESC キーを押すと、変更項目がキャンセルされます。



READY 状態 (準備完了)

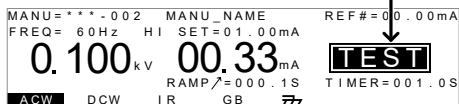
READY 状態は、試験準備完了を示します。START ボタンを押すと試験が実行され、TEST 状態を表示します。MANU/AUTO キーを押すと VIEW 状態に戻ります。



TEST 状態
(試験実行中)

単独試験/自動試験 実行中は、TEST を表示します。STOP ボタンを押すと試験は停止します。

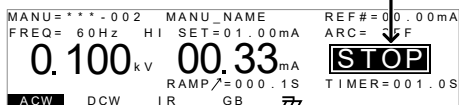
TEST (試験実行中)



STOP 状態
(試験停止)

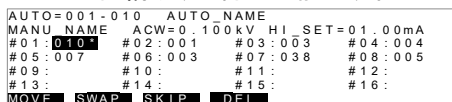
STOP 表示は、試験中に意図的に試験を停止したことを示します。また、STOP ボタンを押された時の測定値を表示します。もう一度、STOP ボタンを押すと READY 状態となります。

STOP (試験停止)



Page View
(ページビュー)

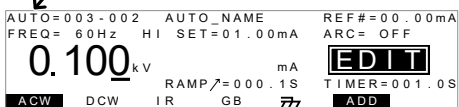
自動試験では、16 ステップの単独試験を設定可能です。Page View は、自動試験の各ステップの構成を確認できます。Page View では、各ステップの再構成、削除も可能です。



AUTO モード
(自動試験)

AUTO 表示は、自動試験を示します。自動 (AUTO) 試験では、単独試験を最大 16 ステップのシーケンス編集、実行が可能です。

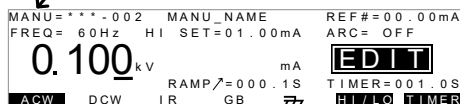
AUTO:自動試験



MANU モード (単独試験)

MANU 表示では、単独試験の編集、実行が可能です。単独(MANU)試験では、ステップ毎に手動で動作可能です。

MANU:単独試験



MANU=***-002 MANU_NAME REF#=00.00mA
FREQ= 60Hz HI SET=01.00mA ARC= OFF
0.100 kV mA EDIT
RAMP/=000.1S TIMER=001.0S
ACW DCW IR GB HI/LO TIMER

COMMON UTILITY (共通 ユーティリティ)

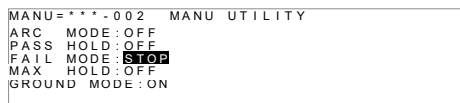
共通ユーティリティ(COMMON UTILITY)では、LCD(ディスプレイ)、ブザー(BUZZ)、インターフェース(INTER)、制御方式(CTRL)を確認、設定できます。



COMMON UTILITY
Start Ctrl: FRONT PANEL
Double Action: OFF
Key Lock: OFF INTERLOCK: OFF
LCD BUZZ INTER CTRL

MANU UTILITY (メニュー ユーティリティ)

MANU UTILITY は、単独試験の各ステップのユーティリティ設定を表示、設定できます。設定項目は、ARC モード、PASS HOLD、FAIL HOLD、MAX HOLD、GROUND モードです。



MANU=***-002 MANU UTILITY
ARC MODE: OFF
PASS HOLD: OFF
FAIL MODE: STOP
MAX HOLD: OFF
GROUND MODE: ON

ACW、DCW、GB 単独(MANU)試験

ACW、DCW、IR、GB の単独(MANU)試験の設定、実行方法について説明します。単独(MANU)試験条件は、本器に 100 個まで保存/呼出できます。この章にて記述される各設定項目は、選択された単独(MANU)試験のみ編集されます。他の単独(MANU)試験は影響を受けません。

単独(MANU)試験番号の選択/呼出

概要

ACW、DCW、IR、GB 試験の単独試験が可能です。単独試験は、001 から 100 までそれぞれに編集、保存、呼出が可能です。

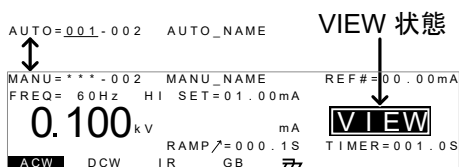
手順

1. 単独(MANU)試験にします。自動 (AUTO)試験の時は、MANU/AUTO キーを長押し(3sec 以上)します。

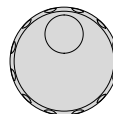
MANU/AUTO



単独試験と自動試験の切換は、VIEW 表示の時、可能です。



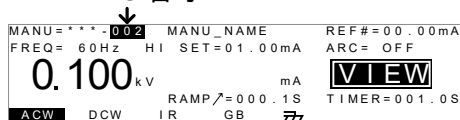
2. ロータリーノブを使用して MANU 番号を選択します。



MANU # 001~100

(MANU# 000 特別 単独試験)

MANU 番号





注意

VIEW 状態の時だけ、MANU 番号を選択できます。EDIT の時は、EDIT/SAVE または、ESC キーを押すと、VIEW 表示に戻ります。

単独(MANU)試験の編集

概要

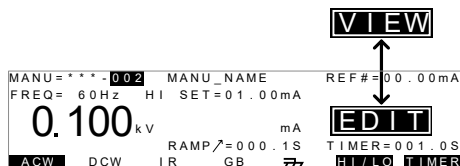
単独(MANU)試験条件を編集するには、EDIT 状態にします。

選択されている MANU 番号の試験条件の編集ができます。

手順

1. 編集する MANU 番号を確認の上、EDIT/SAVE キーを押して VIEW 状態ステータスから EDIT(編集)に入ります。

EDIT/SAVE



2. VIEW 表示から EDIT 表示になります。



注意

EDIT/SAVE キーを再度押すと EDIT(編集)から VIEW 状態に戻ります。

単独(MENU)試験の選択

概要

MANU 番号を選択してから、EDIT(編集)に入ります。そして、試験条件を設定します。

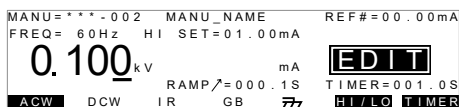
試験モード機種により異なりますが、ACW(AC 耐電圧試験)、DCW(DC 耐電圧試験)、IR(絶縁抵抗試験)、GB(アース導通試験)の 4 種類あります。

手順

1. ACW、DCW、IR、GB キーより試験モードのキーを押します。



2. 選択された試験モードが、点灯します。



試験モード



注意

現在、選択されている試験モードのみ点灯します。

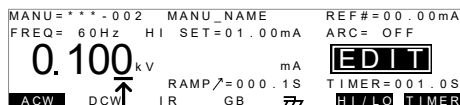
試験電圧と電流の設定

概要

試験電圧は、試験モードにより異なります。
ACW は 0.050kV～5kV、DCW は 0.050kV～6kV、IR は 0.050V～1kV(50Vsteps)。
試験電流は GB のみで、3A ～ 30A(GPT-9804)、3A ～ 32A(GPT-9904)です。

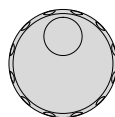
手順

1. UP/DOWN キーを押して、カーソルを
電圧(電流)設定に移動させます。



カーソル

2. ロータリー ノブを回して試験電圧(電
流)を設定します。



ACW	0.050kV ~ 5kV
DCW	0.050kV ~ 6kV
IR	0.05kV ~ 1kV (50V steps)* *GTP-99xx/99xxA は 125V 設定可能
GB	3.00A ~ 30.00A(GPT-9804) 3.00A ~ 32.00A(GPT-9904)



注意

試験電圧を設定時、出力電力に注意してください。
GPT-98XX の ACW は、最大出力電力 200VA。
DCW は、最大出力電力 50W です。
GPT-99XX/99XXA の ACW は、最大出力電力
500VA。DCW は、最大出力電力 100W です。

GB の印加電圧(GBV)は、上限基準値(HI SET) x
試験電流より、算出されます。

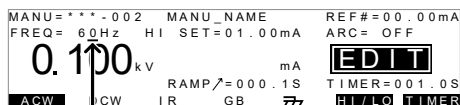
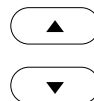
試験周波数の設定

概要

本器は、試験周波数を 50Hz または、60Hz に切
換できます。この機能は、ACW 試験と GB 試験
に有効です。

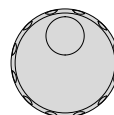
手順

- UP / DOWN の矢印キーを操作して、カーソルを FREQ(周波数)設定に移動します。



カーソル

- ロータリー ノブを使用して、試験周波数を設定します。



ACW, GB 50Hz, 60Hz



注意

試験周波数を設定できるのは、ACW 試験と GB 試験だけです。

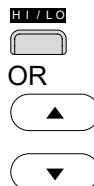
上限/下限基準値の設定

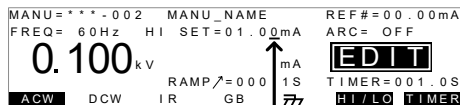
概要

下限(LO)と上限(HI)の基準値の設定があります。測定値が、下限(LO)値より低い場合、その試験は、FAIL と判定されます。また、測定値が、上限(HI)値を超える場合、その試験も FAIL と判定されます。測定値が、下限(LO)値と上限(HI)値の間の時、PASS と判定されます。下限(LO)値は、上限(HI)値より大きい値を設定できません。

手順

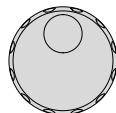
- HI/LO キーまたは、UP / DOWN 矢印キーにて、カーソルを上限(HI)設定 (ACW/DCW/GB 時)または、下限 (LO)設定 (IR 時)に移動させます。





カーソル

2. ロータリー ノブを使用して、上限(HI)/
下限(LO)値を設定します。



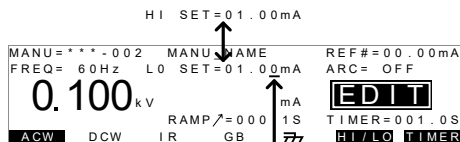
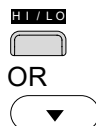
ACW 上限 0.001mA~042.0mA (GPT-98XX)
(HI) 0.001mA~110.0mA (GPT-99XX/
99XXA)

DCW 上限 0.001mA~011.0mA (GPT-98XX)
(HI) 0.001mA~021.0mA (GPT-99XX/
99XXA)

IR 下限 0001MΩ ~ 9999MΩ (GPT-98XX)
(LO) 0.001GΩ ~ 50.00GΩ (GPT-
99XX/ 99XXA)

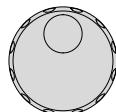
GB 上限 000.1mΩ ~ 650.0mΩ
(HI)

3. 上限(HI)と下限(LO)設定を切替ま
す。HI/LO キーを押すまたは、
DOWN 矢印キーを押します。



カーソル

4. ロータリー ノブを使用して、上限(HI)/
下限(LO)基準値を設定します。



ACW 下限 (LO)	0.000mA~041.9mA (GPT-98XX) 0.000mA~109.9mA (GPT-99XX/ 99XXA)
DCW 下限 (LO)	0.000mA~010.9mA (GPT-98XX) 0.000mA~020.9mA (GPT-99XX/ 99XXA)
IR 上限 (HI)	0001MΩ~9999MΩ, ∞ (GPT- 98XX) 0.001GΩ~50.00GΩ, ∞ (GPT-
GB 下限 (LO)	99XX/ 99XXA) 000.0mΩ ~ 649.9mΩ



注意

上限(HI)基準値により、下限(LO)基準値は、制限されます。下限(LO)基準値は、上限(HI)基準値により小さくなります。

GPT-98XX の ACW は、最大出力電力 200VA。
DCW は、最大出力電力 50W です。
GPT-99XX/99XXA の ACW は、最大出力電力
500VA。DCW は、最大出力電力 100W です。

オフセット(Reference)の設定

概要

REF#は、オフセットとして働きます。REF#(オフセット)の設定値は、測定電流値(ACW, DCW 時)または、測定抵抗値(IR, GB 時)から、減算されます。



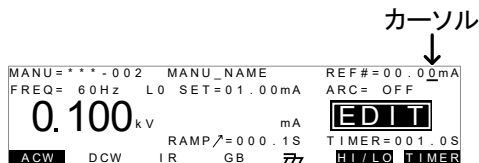
注意

REF 機能を使用する際は、測定値の誤差を考慮して設定してください。測定値と判定値が近い場合は REF 設定により、逆転しまう可能性があります。

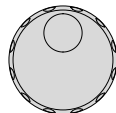
手順

1. UP / DOWN 矢印キーを押して、カーソルを REF#に移動させます。





2. ロータリー ノブを使用して、REF#(オフセット)値を設定します。



ACW	0.000mA~上限基準値(電流)-0.1mA
DCW	0.000mA~上限基準値(電流)-0.1mA
IR	0000MΩ~上限基準値(MΩ)-1MΩ
GB	000.0mΩ~上限基準値(Ω)-0.1mΩ



注意

GB 試験では、ゼロ機能を使用することでオフセットを自動的に設定できます。

単独(MANU)試験 試験時間(Timer)の設定

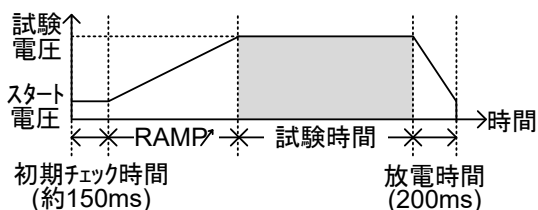
概要

試験時間(TIMER)設定は、試験時間を示します。この試験時間は、被測定物(DUT)に与える電圧または、電流の時間です。この試験時間には、Ramp/(上昇時間)、初期チェック時間、放電時間含まれません。(注意: GB 試験には、Ramp/(上昇時間)機能、放電機能がありません。)

ACW、DCW、GB 試験では、0.5sec~999.9sec の設定が可能です。IR 試験では、1.0sec~999.9sec の設定が可能です。どの試験時間も、設定分解能は 0.1sec です。

特別 単独(MANU)試験の ACW と DCW 試験時は、試験時間(TIMER)を OFF することができます。

各試験は、約 150msec の初期チェック時間と
200msec の放電時間があります。(GB は除く)



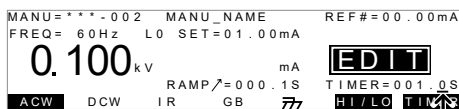
手順

1. 試験時間(TIMER)キーまたは、
UP/DOWN 矢印キーを使用して、カ
ーソルを試験時間(TIMER)まで移動
させます。

TIMER

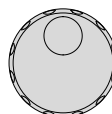


OR



cursor

2. ロータリー ノブを使用して、試験時間
(TIMER)を設定します。



ACW	000.5s~999.9s
DCW	000.5s~999.9s
IR	001.0s~999.9s
GB	000.5s~999.9s




注意

ACW 試験の試験電流が、30mA～40mA(GPT-98XX) または、80mA～100mA (GPT-99XX/99XXA)のとき、全試験時間(上昇(Ramp)時間+試験時間)が、240sec 以上にはしてはいけません。このような状態のときは、連続試験を中止し、試験と試験の間にその試験時間以上の休止を置いてください。

特別 単独試験

特別 単独(MANU)試験の ACW と DCW 試験時は、試験時間(TIMER)を OFF することができません。

タイマーを OFF するには、試験時間  (TIMER)キーを 3sec 以上長押しします。



注意

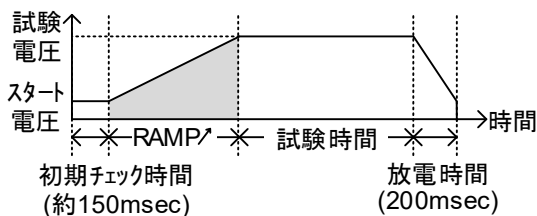
特別 単独(MANU)試験では、試験時間(TIMER)を OFF できますが、制限があります。ACW 試験にて電流が、30mA～40mA(GPT-98XX) または、80mA ～ 100mA (GPT-99XX/99XXA)の場合、240sec 以内に手動にて試験を停止してください。試験時間(TIMER)が、OFF のため自動的に出力が、停止しません。注意してください。

初期チェック時間と放電時間は、固定です。変更できません。

上昇時間(Ramp Up)の設定

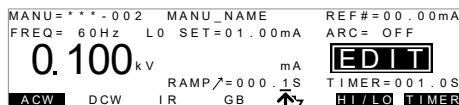
概要

上昇(RAMP UP)時間は、本器の出力が試験電圧までの時間を設定します。上昇(Ramp Up)時間は、初期チェック試験(約 150msec、印加電圧 50V)の次に始まります。上昇(Ramp Up)時間は、0.1sec～999.9sec の設定ができ、ACW、DCW、IR 試験の時に有効です。



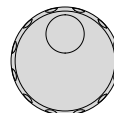
手順

1. UP/DOWN 矢印キーを使用して、カーソルを上昇時間(RAMP)設定に移動させる。



カーソル

2. ロータリー ノブを使用して、上昇時間 (RAMP) 値を設定します。



ACW 000.1s~999.9s

DCW 000.1s~999.9s

IR 000.1s~999.9s



注意

初期チェック時間と放電時間は、固定です。変更できません。

編集(EDIT)の保存と終了

概要

全ての試験条件は、単独(MANU)試験に保存可能です。保存された単独(MANU)試験は、自動(AUTO)試験にも使用できます。



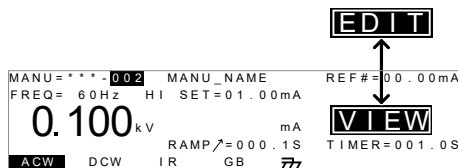
警告

単独試験番号 000 は、特別な番号です。試験パラメータは、保存可能ですが、自動(AUTO)試験では、使用できません。

手順

1. EDIT(編集)の時、EDIT/SAVE キーを押すと表示されている試験条件は残されます。保存先は、選択されている単独試験番号です。そして、VIEW 表示になります。

EDIT/SAVE



2. EDIT 状態から VIEW 状態を変更します。



注意

EDIT/SAVE キーを押すと、EDIT(編集)表示と VIEW 表示を交互に切り替えます。

単独(MANU) 試験の実行

概要

READY 表示は試験準備完了を示します。
試験を開始できます。



注意

本器は、下記の条件時、試験を実行しません。

- 保護機能が、働いた場合：
保護機能が働くとディスプレイにエラーメッセージを表示します。
- インターロック(INTERLOCK)機能が、ON 状態にて、インターロック キーが、SIGNAL I/O 端子に装着されていない場合。
- 外部リモートより、停止(STOP)信号を受けている場合。

ダブルアクション設定が、ON の場合は、停止 (STOP)ボタンを押した後、実行(START)ボタンを

($<0.5\text{sec}$)確実に押してください。



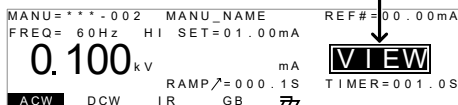
注意

試験実行中、出力電圧の変更は、出来ません。
(特別 単独試験番号 000 を除く)

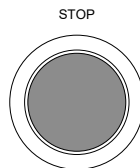
手順

1. 本器のディスプレイの VIEW(試験条件 P. 21 参照条件)の内容を確認します。
必要ならば、表示されている試験条件を保存します。

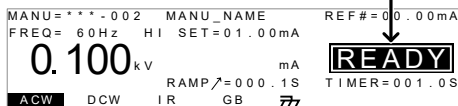
VIEW 状態



2. 停止(STOP)ボタンを押します。
READY(準備完了)が、表示されます。



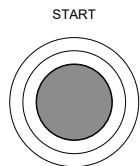
READY 状態




3. READY インジケータ(青)が、点灯します。(準備完了)



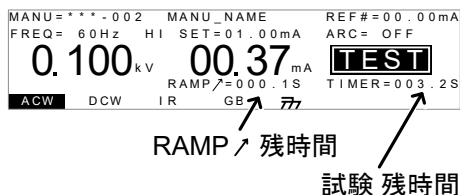
4. 実行(START)ボタンを押します。単独(MANU)試験が、実行します。ディスプレイの表示が、TEST(試験中)になります。



5. TEST インジケータ(橙色)に点灯します。 TEST 



6. 試験が実行すると上昇(RAMP UP)時間の残時間を表示します。そして、自動的に試験に進み、試験の残時間を表示します。単独試験は、設定された時間または、停止されるまで、試験を継続します。



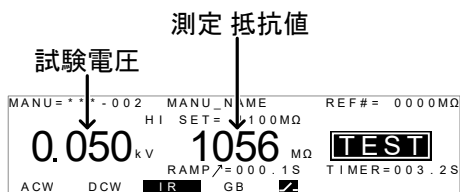
ACW の例



DCW の例



IR の例

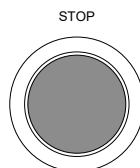


GB の例



試験停止

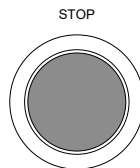
1. 試験実行中に停止(STOP)ボタンを押して、試験停止出来ます。停止(STOP)ボタンを押すと試験は、早急に停止しますので試験判定はしません。



STOP 表示中は、停止(STOP)ボタン以外のキーは、無効です。



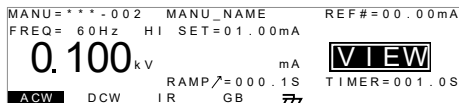
2. 再度、停止(STOP)ボタンを押すと、READY(準備完了)を表示します。



TEST 状態から
抜ける

READY 表示中に、MANU/AUTO キーを押すと、VIEW 状態になります。





注意

試験実行中は、本器の端子、テストリード、被試験物に触れないでください。

単独(MANU) 試験の PASS / FAIL

概要

通常、試験を終了すると PASS または FAIL の判定をします。(試験停止または保護機能が働いた場合、試験結果は判定されません。)



注意

試験が、下記の状態時を PASS と判定します。

- 試験実行中、上限(HI SET)または下限(LO SET)基準値を越えない場合。

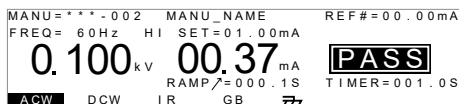
試験が、下記の状態時を FAIL と判定します。

- 試験実行中、上限(HI SET)または下限(LO SET)基準値を超えた場合。

PASS 判定

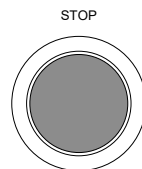
- 試験結果を PASS と判定すると、ブザーが鳴ると共に、ディスプレイに PASS が表示され、PASS インジケータ(緑)が点灯します。

PASS

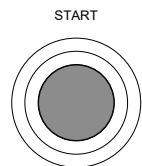


- STOP または START ボタンを押されるまで PASS 判定は、表示されます。

STOP ボタンを押すと READY 状態に戻ります。



実行(START)ボタンを押すと再度、試験が実行されます。



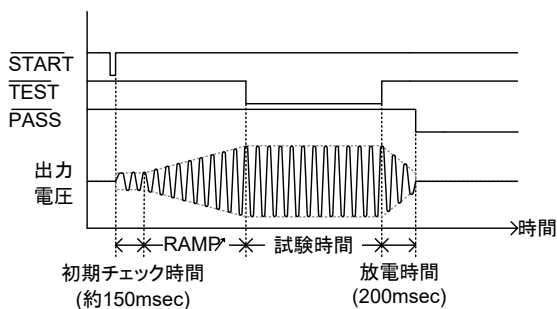
注意

PASS ブザー音は、Pass Sound の設定が ON の時、有効です。ブザー音が鳴っている間、実行 (START) ボタンは無効です。

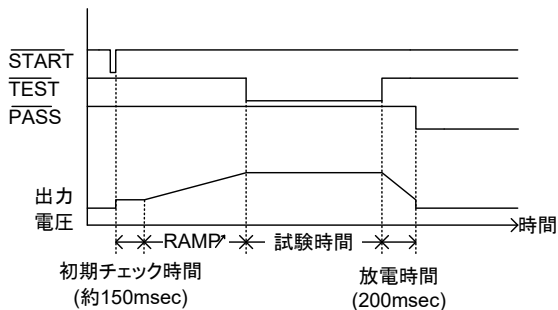
PASS タイミング ダイアグラム

試験実行中から PASS 判定までの ACW、DCW、IR、GB のタイミングダイアグラムは、下記の通りです。

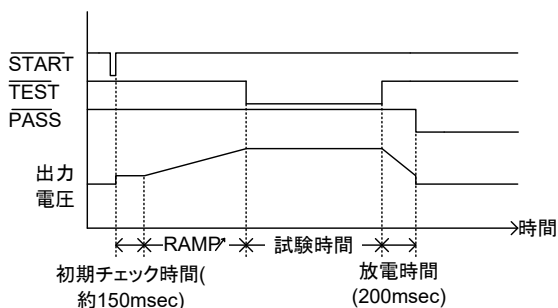
ACW PASS タイミング



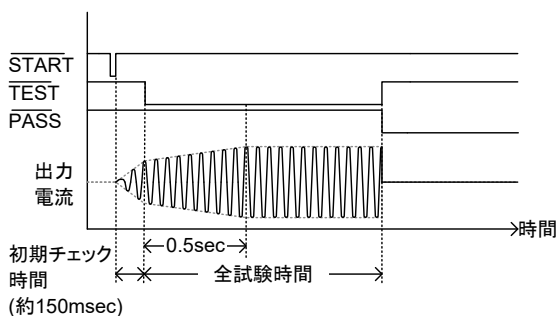
DCW PASS タイミング



IR PASS タイミング



GB PASS タイミング

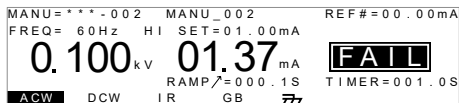


FAIL 判定

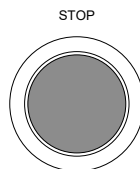
1. FAIL 判定された場合、ブザーが鳴ると共に、ディスプレイに FAIL が表示され、FAIL インジケータ(赤)が、点灯します。

FAIL

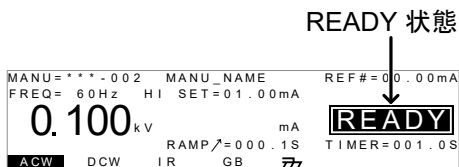
FAIL 判定すると、早急に試験端子からの電力供給を切ります。



2. 停止(STOP)ボタンが、押されるまで
FAIL 状態は、保持されます。停止
(STOP)ボタンを押すと、READY 状
態になります。



3. READY(準備完了)と READY インジ
ケータ(青)が点灯します。



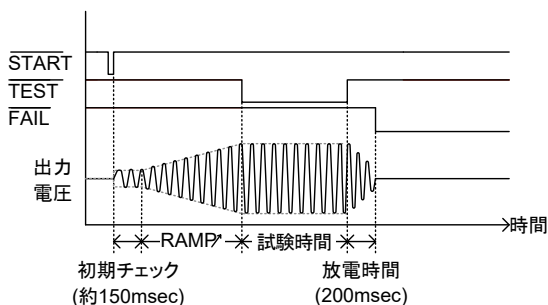
注意

FAIL の場合にブザーを鳴らすには、Fail Sound
設定を ON にしてください。

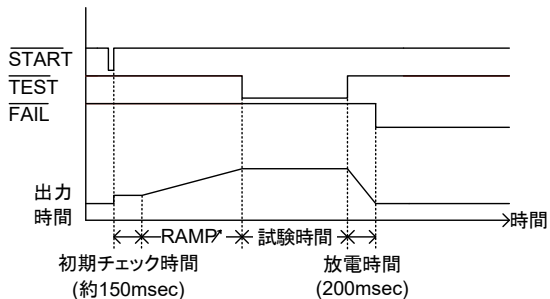
FAIL タイミング ダイアグラム

試験実行中から FAIL 判定までの ACW、DCW、
IR、GB のタイミングチャートは、下記の通りです。

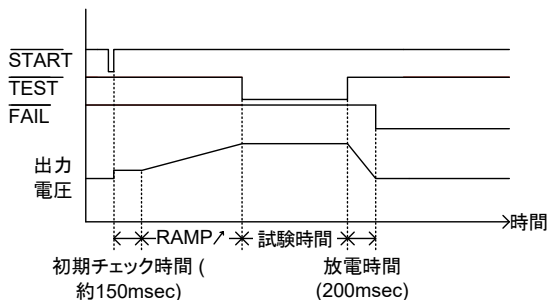
ACW FAIL タイミング



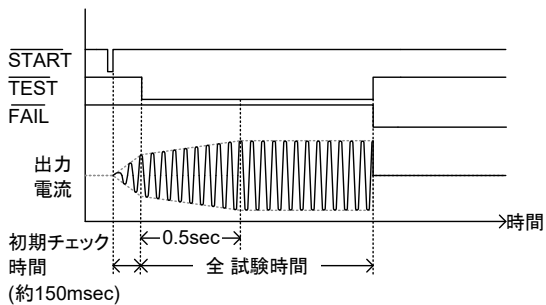
DCW FAIL タイミング



IR FAIL タイミング



GB FAIL タイミング



お問い合わせ

製品についてのご質問等につきましては下記まで
お問い合わせください。

株式会社テクシオ・テクノロジー

本社：〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-18-13

藤和不動産新横浜ビル 7F

[HOME PAGE] : <https://www.texio.co.jp/>

E-Mail: info@texio.co.jp

アフターサービスに関しては下記サービスセンターへ
サービスセンター：

〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-18-13

藤和不動産新横浜ビル

TEL. 045-620-2786 FAX.045-534-7183